

◆病院の理念◆

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します。



大動脈弁狭窄症に対する新しい治療： 経カテーテル的大動脈弁植込術 (TAVI) について

心臓血管外科・循環器内科

人間の心臓の出口には、心臓から大動脈に駆出された血液が、再び心臓に逆流しないようにするための逆流防止弁が備わっています。この弁を“大動脈弁”と呼びます。この大動脈弁が、加齢や動脈硬化などにより厚く、硬くなり、十分に開ききらずに狭くなった状態が大動脈弁狭窄症（だいでうみやくべんきょうさくしやう）です。

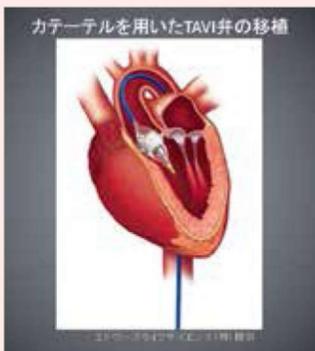
大動脈弁狭窄症は、重症化すると心不全や突然死を引き起こす極めて危険な病気です。この予後を改善する治療法は手術しかありません。現在、実績と信頼性のある標準的な手術は大動脈弁置換術です。この手術は、全身麻酔を用い、胸を切開し、人工心肺装置（心臓の代わりに体に血液を送り、肺の代わりに血液中の酸素と二酸化炭素の量の調整を行う機械）を使用しながら心臓を停止させ、その間に、病んだ大動脈弁を切除し、人工弁で置き換えるというものです。多くの患者さんは、この大動脈弁置換術に十分耐え、良い結果とともに社会に復帰されます。しかし、患者さんのさまざまな医学的条件により、この標準的な手術が不適当、あるいは非常に危険が高いと判断される場合があります。それは高齢（80歳以上）や著しい体力の低下（杖歩行など）、過去に心臓手術を行ったことがある場合などです。TAVIは、カテーテルという管を患者さんの足の付け根の動脈などから挿入し、心臓を止めずに人工弁を大動脈弁の位置に植え込む手術です。通常、胸を切開せず（小さな切開を行う方法もあります）、人工心肺装置を用いず、心臓を止めずに行われるため、標準的な大動脈弁置換術よりも身体的な負担が小さく、術後の回復も速やかである可能性があります。これまで耐術能に問題があり、手術を受けること

ができなかったリスクの高い患者さんでも受けることができる低侵襲手術と考えられています。

TAVIは全身麻酔で行われ、手術時間は3～4時間、入院期間はおよそ1～2週間が見込まれます。TAVIが患者さんに適しているか否かの判断はとても重要です。そこで、本院ではハートチーム（当院の複数科の医師、看護師、理学療法士、臨床工学士などで構成されます）で十分に検討し、判断します。また手術についてもハートチームで検討を行い、想定される合併症に対応できる準備を万全に行っています。

2017年7月に本院はTAVI実施施設として認定されました。私どもは新規医療技術の見極めは慎重に、しかし、ひとたび導入したら最高の成績で患者さんに提供することを実践してまいりました。

「大動脈弁狭窄症と診断されたが高齢で治療に不安がある」「心臓に雑音の有ると言われたが放置したまま」「最近、息切れ、動悸がきつくなった」このような患者さんがおられましたら、ぜひ本院の循環器内科あるいは心臓血管外科にお声掛けください。その患者さんに最適の治療をご提供いたします。



TAVIが適宜となる患者さんとは？

- ✓ 高齢（75歳から80歳以上）
- ✓ 杖歩行など足腰の弱った状態
- ✓ 呼吸機能が低下している
- ✓ 認知症の初期
- ✓ 以前に心臓手術を受けている
- ✓ 弁置換手術に耐えられないなどの状態である方々です。

がん治療に対する取り組み

シリーズ③ がん相談支援センター編

がんに関する不安や悩みはがん相談支援センターにご相談ください

がん相談支援センターとは

本院は平成20年度に厚生労働大臣より地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、がん患者さん・ご家族を支援する相談窓口として「がん相談支援センター」を開設いたしました。

がん相談支援センターにはがん専門の看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、事務員が在籍し、がんの予防や治療に関する一般的な情報提供、がん患者さん・ご家族の療養上の相談、医療福祉相談、治療や今後の不安などといった、さまざまな相談内容に合わせて各相談員が対応いたします。

本院の患者さん・ご家族をはじめ、本院に通院されていない患者さん・ご家族、他施設の医療スタッフからの相談や連携にもご利用いただけます。相談は無料で、相談者個人のプライバシーは大切にお取り扱いさせていただきます。

また、がん相談支援センターでは、さまざまながんに関するイベント、情報のご案内や医療用ウィッグ、医療用帽子の見本の設置、各種がんに関するパンフレットを無料で配布するなど、さまざまな情報を掲示板にて提供しております。

図書の無料貸し出しも行ってまいりますので、お気軽にご利用ください。

がんと仕事の両立支援について

本院におかかりのがん患者さん・ご家族を対象に、治療を受けながら仕事を継続していくためのヒントや利用できる社会保障制度など、がんと仕事の両立支援を行っております。また、毎月第3水曜日には、社会保険労務士による就労相談支援も実施しております。ご希望の方はがん相談支援センターまでご連絡ください。

がん患者サロン「ひだまり」について

がん患者さん・ご家族同士が交流し支え合える場として、本院のがん患者さん・ご家族を対象に、がん患者サロン「ひだまり」を年6回（偶数月のみ）開催しております。

●勉強会（10:00～11:00）

医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、管理栄養士、理学療法士などさまざまな職種の講師を迎え、治療や食事、日常生活、心のケアなどの講義を行っています。

●交流会（11:00～12:00）

「家族や友人には言えないがん特有の悩みや不安なども、同じ病気の方となら本音で話せる」「仲間ができて嬉しい」という参加者の意見を参考に、患者さん・ご家族同士でご自由にお話しいただけるよう、スタッフでサポートしています。



がん患者サロン「ひだまり」

2018年度 がん患者サロン「ひだまり」勉強会 テーマ一覧		
開催場所	テーマ（予定）	勉強会講師（予定）
2018年4月21日	乳がん診療の現状 ヨガ教室	乳腺・内分泌外科 医師 ヨガインストラクター
6月2日	食道がんについて がん闘病体験談 「前向きに生きる」とは	一般・消化器・小児外科 医師 一般・消化器・小児外科 患者
8月18日	緩和ケアについて がんとうまくつきあっていきましょう	緩和ケアチーム 医師 看護師
10月20日	肺がんについて がん患者の療養を支える社会サービス	呼吸器外科 医師 医療ソーシャルワーカー
12月1日	がん治療中の唾液の重要性、口腔乾燥は敵だ！ がんの治療と食事	歯科口腔外科 医師 管理栄養士
2019年2月16日	免疫療法について 自分でできる心のケア	化学療法センター医師 臨床心理士

※勉強会のテーマ、講師は変更になることがあります。詳しくは院内掲示のポスター、がん相談支援センターにてご確認ください。

看護スペシャリスト
専門看護師・認定看護師の活動

Part 14



**患者さまご家族に
心のこもった関心を寄せて、
安全、確実、安心な
がん化学療法看護を提供します。**

がん化学療法看護認定看護師
有田 由美

近年、がん医療の進歩は目覚ましく、手術療法、放射線療法、薬物療法の3本柱に加え、がん免疫療法が加わり4本柱となっています。本院は、がん診療連携拠点病院であり、それらを効果的に組み合わせた最新の集学的治療や緩和ケアが行われています。外来化学療法センターでは、年間延べ約9000人の患者さまがご利用されており、自宅で日常生活を送りながら、外来で抗がん剤治療やがん免疫療法を受けておられます。

がん化学療法看護認定看護師の役割は、抗がん剤治療を受ける患者さまご家族が安心して納得のうえ、日常生活・社会生活をその人らしく過ごせるように治療環境を整えることです。患者さまご家族は、「病気を治したい」「副作用が心配」「少しでも長生きしてほしい」など、さまざまな思いや希望、不安を持っておられます。私は常に「安全・確実・安心」を心掛け、患者さまご家族の気持ちにいち早く気づき支援すること。そして、その人らしく少しでも笑顔で療養生活が送れるように、専門的知識や技術を提供し、医療チームと共に考え実践することを大切にしています。

本院では、がん看護領域の専門・認定看護師による「がんサポート外来」を行っています。がん患者さまの悩みや不安などをお聴きし共に考え、多職種でサポートしていますのでご相談ください。

がんサポート外来
【診療日】金曜日(予約制)
【受付時間】9:00~16:00
【問い合わせ先】外来化学療法センター

小児病棟へ入院中の子どもたちに 素敵なプレゼントをいただきました。



小児病棟では、0歳から15歳までのさまざまな子どもたちとご家族が日々病気と闘っています。クリスマスの時期を病院で過ごさなければならない子どもたちと12月20日にクリスマス会を開催しました。



高槻東ロータリークラブの皆さまから、子どもたち一人ひとりに絵本のプレゼント、病棟には検査や処置から子どもの不安や恐怖心を和らげる説明に使う木製の医療玩具、ポータブルDVDプレイヤーが贈られました。絵本を手にした子どもたちは夢中で読み、大変喜んでいました。子どもたちから高槻東ロータリークラブの皆さまへ歌やハンドベル演奏でお礼を伝え、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

(参考)高槻東ロータリークラブ HP: <http://www.takatsukieast-rc.org/>

災害訓練を実施しました

災害対策委員会

平成30年1月29日(月)13時30分 高槻市周辺で震度6強の地震発生を想定。災害対策本部の立ち上げ、各部署からの被害報告、通報連絡、避難誘導、救出活動、多数傷病者の受け入れを行うなど災害訓練を実施しました。

本院は災害拠点病院に指定されており、病院内だけでなく、地域全体の医療ニーズや三島医療圏内の医療施設の情報を把握し、被災地内の重症傷病者に対応することが求められています。

今回の訓練を通して、限られた人員と医療資源の有効活用や被害情報等の情報収集、災害本部等における指揮命令等の大切さについて再認識しました。

今後もさらに防災教育・訓練等を充実し、職員の災害対策への意識向上を図るとともに、防火・防災設備を充実させ、地域住民の方々に役に立てよう努力いたします。



平成30年度 肝臓病教室開催予定

本院では肝臓病についての理解を深め、日常生活に対する疑問や病気に対する不安を解消することを目的に、肝臓病教室を開催しています。お気軽にお越しください。

◆時間 / 15:00 ~ 16:00
◆場所 / 第11会議室(病院西管理棟4階)

無料
申込不要

年間スケジュール

回数	内容	講師
第1回	平成30年 4/12(木) ・肝臓の持つさまざまな働きについて ・今日から実践できる肝臓によい食事	医師 栄養士
第2回	6/14(木) ・肝硬変の治療 ・肝臓がわるい時の症状とその対策 ・肝疾患に対する指定難病の助成と身体手帳	医師 看護師 医療ソーシャルワーカー
第3回	8/9(木) ・肝細胞がんに対するいろいろな治療法 ・B型肝炎、C型肝炎、肝細胞がんにもちいる薬剤とは	医師 薬剤師
第4回	10/11(木) ・非アルコール性脂肪性肝炎(脂肪肝)について ・肝臓を助ける栄養療法	医師 薬剤師
第5回	12/13(木) ・意外と多いB型肝炎ウイルス感染症 ・肝臓を守る食べ方・働かせる食べ方	医師 栄養士
第6回	平成31年 2/14(木) ・C型肝炎ウイルスの治療 ・肝臓に対する治療における副作用と注意点 ・ウイルス性肝炎に対する助成	医師 看護師 医療ソーシャルワーカー

※予定が変更になる場合があります

お問い合わせ / 肝疾患相談支援センター
072-683-1221 内線2923

平成30年度 市民公開講座 開催予定

第1回	平成30年 5月19日(土)	“早く元気に!”を栄養で支える ~当院での栄養サポートチーム(NST)の取り組み~ 栄養部NST委員会 (内科学I教室糖尿病代謝・内分泌内科) 助教 金網 規夫
第2回	6月16日(土)	肺がんの最新治療 ~分子標的治療・免疫チェックポイント阻害剤を中心に~ 内科学I教室 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科 助教 田村 洋輔
第3回	9月15日(土)	未定 整形外科教室 講師 馬場 一郎
第4回	11月17日(土)	話題てんご盛りの放射線治療 放射線医学教室 講師(准) 新保 大樹
第5回	12月15日(土)	パーキンソン病の診断と新しい治療法 内科学IV教室 神経内科 教授 荒若 繁樹
第6回	平成31年 2月16日(土)	うつ病について 神経精神医学教室 助教 川野 涼

情報コーナー

病院ホームページをリニューアルしました!



- 使いやすく、見やすいデザイン・レイアウトに変更しました。
- 病院の最新情報を紹介する新コンテンツを追加しました。
- スマートフォン・タブレットなどの携帯端末対応になりました。

どうぞご覧ください!

